

議案第 22 号

令和5年度優良PTA会員小松市教育委員会表彰について

令和5年度優良PTA会員小松市教育委員会表彰被表彰者の議決を求める。

記

被表彰者氏名

表彰基準（1）号該当者

清水 篤志

表彰基準（2）号該当者

宮崎 忍

根拠：優良PTA会員教育委員会表彰要項

令和5年度優良PTA会員小松市教育委員会表彰被表彰候補者

氏名	略歴・要項表彰基準	推薦事由
<p>しみず あつし 清水 篤志</p>	<p>H29.4～H30.3 小松市立学校 PTA 連合会 総務委員長 H30.4～H31.3 小松市立学校 PTA 連合会 副会長（総務委員会） H31.4～R2.3 小松市立学校 PTA 連合会 監事 R2.4～R3.3 小松市立学校 PTA 連合会 副会長 R3.4～R5.3 小松市立学校 PTA 連合会 会長</p> <p>表彰基準（1）号該当</p>	<p>組織の中核である総務委員長及び担当副会長を歴任し様々な事業を成功へと導いた。 また、他の役職を経て会長職を努め当該組織の運営及び発展に多大に貢献された。</p>
<p>みやざき しのぶ 宮崎 忍</p>	<p>H31.4～R2.3 小松市立学校 PTA 連合会 輝く心の学び委員会副委員長 R2.4～R3.3 小松市立学校 PTA 連合会 輝く心の学び委員会委員長 R3.4～R5.3 小松市立学校 PTA 連合会 輝く心の学び委員会副委員長</p> <p>表彰基準（2）号該当</p>	<p>役員を5年間務められ、当該組織のより良い組織運営と組織改革に貢献された。 母親・輝く心の学び委員会副会長として、母親・女性視点から機能する組織作りのために尽力。 その他、役員として関係団体の事業にも積極的に参加された。</p>

## 優良PTA会員教育委員会表彰要項

### 1 趣旨

小松市内の小学校・中学校PTA会員のうち、PTA本来の目的・性格に沿って、PTAの健全な育成発展に功績のあった個人を表彰し、もって青少年の健全な育成に資することを目的とする。

### 2 表彰基準

次の要件のいずれかを満たす個人で、小松市立学校PTA連合会の推薦のあった者とする。

- (1) 小松市立学校PTA連合会会長経験者
- (2) 小松市立学校PTA連合会役員を3年以上務めた者
- (3) 小松市立学校PTA連合会母親委員長又は同副委員長を2年以上務めた者
- (4) 特に顕著な活躍があり、小松市立学校PTA連合会が認めた者

### 3 被表彰者の選定及び決定

- (1) 小松市立学校PTA連合会は、上記表彰基準に従い、優良と認められる個人を、別記様式により推薦する。
- (2) 小松市教育委員会は、推薦された被表彰者候補について、審査の上決定する。

### 4 表彰の方法

表彰状の授与

### 5 表彰の時期

当該年度の小松市立学校PTA連合会研究大会の席上行う。

制定 平成7年度表彰より施行

## 令和5年度 夏季教職員研修を終えて

教育研究センター

	研修名	日時	ねらい	参加人数	まとめ
1	夏季教職員研修①(授業づくりⅠ) 「小中連携における指導の継続性の ポイント～共通点と相違点の理解～」 文部科学省初等中等教育局 視学官 直山 木綿子 氏	7月25日	学習指導要領を踏まえた、小中9年間を見通した外国語教育の在り方について理解を深める。	88名	学習指導要領の外国語活動・外国語科の目標を踏まえ、小学校と中学校の学習指導の共通点と相違点についてご講話いただいた。また、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」について、授業実践例を基に教えていただくことができた。 参加者の感想には、「言語活動をしっかりと設定し、目的・場面・状況の設定を明確にしていきたい。」「小中連携を一層進めていき、学びの系統性を生かした外国語における指導をしていきたい。」などがあった。
2	児童生徒理解講座 「教室で行う子どものアセスメント(理解・発見)とその支援」 大阪学院大学教育発達支援センター 講師 山田 章 氏	8月2日	教室の中で困っている児童生徒へのアセスメントや支援について、理解を深める。	175名	教室で困っている児童生徒の理解や支援について、ご講話いただいた。具体例を交えた支援の方法をお聞きし、2学期からの実践につながる研修となった。 参加者の感想には、「それぞれの特性に合った指導・支援の在り方を、児童の行動や会話から観察したり推察したりして、考えていきたい。」「児童の特性を把握したうえで、その子に合った支援をしなければいけないと感じた。」「支援が必要な子供への対応として、これまでの対応を振り返る機会となった。」などがあった。
3	夏季教職員研修②(情報活用能力) 「各教科等横断的な視点での情報活用能力の育成～GIGA端末活用を視野に入れて～」 放送大学 教授 中川 一史 氏	8月9日	情報活用能力の理解を含め、各教科等横断的な視点で、どのように育成すべきか、理解を深める。	90名	各教科等横断的な視点で、どのように情報活用能力を育成すべきかご講話いただいた。端末活用の推進について、3段階の活用フェーズで教えていただいたことで、具体的な活用イメージをもつことができた。 参加者の感想には、「情報活用能力の育成が、自己調整力や学び方の定着に繋がることを学んだ。」「今求められている資質能力の育成に、学習用端末が大変有効なツールであることを再確認することができた。」などがあった。
4	夏季教職員研修③(授業づくりⅡ) 「学びの見取りを生かした授業づくり」 京都大学大学院 准教授 石井 英真 氏	8月22日	資質・能力を確実に身に付けるために、授業の中でどのように子供の学びを見取り、それを指導に生かしていくことについて、理解を深める。	148名	「見取り」「評価」「評定」の理解を含めた3つの関係性や「形成的評価」と「総括的評価」の違いについてご講話いただいた。また「主体的に学習に取り組む態度」の評価についての理解を深めることができた。 参加者の感想には、「学んだことが評価される場をしっかりと設けたいと思った。」「児童がゴールにむけての本時だと分かる単元計画にしていかななくてはならないと痛感した。」「評価をするために児童を観察するのではなく、指導の成果を児童の姿で確かめるために評価があると改めて学ぶ機会となった。」などがあった。

## 中学生ビブリオバトル石川県大会及び小学生ビブリオバトルの開催について

- 概要 ビブリオバトル（書評合戦：おすすめ本の紹介バトル）
- ①発表者がおすすめの本の面白さなどを5分間で紹介する。
  - ②他の発表者、観戦者と3分間の質疑応答を行う。
  - ③全員発表後、発表者・観戦者による投票でチャンプ本（最も読みたくなった本）を決定する。
- 趣旨 読書活動を通して様々な分野への知的好奇心を高めるとともに、多様な価値観に触れながら思考力、表現力、聴く力等を身に付ける機会とする。

### (1) 中学生ビブリオバトル石川県大会 in 小松 2023

- 1. 日時 令和5年10月22日（日） 13時00分～
- 2. 会場 サイエンスヒルズこまつ 3Dスタジオ
- 3. 主催等 主催：小松市ビブリオバトル実行委員会 共催：活字文化推進会議  
後援：石川県教育委員会、読売新聞社
- 4. 対象 発表者：県内中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部の生徒  
観戦者：興味ある方はどなたでも
- 5. 定員等 発表者15名程度、観戦者60名程度  
申込期間 10月6日（金）まで
- 6. その他 優勝者は令和6年3月に開催予定の全国大会の出場権を得る。発表者・引率者1名の旅費、宿泊費は自己負担なし。

### (2) 小学生ビブリオバトル in 小松 2023

- 1. 日時 令和5年11月11日（土） 10時30分～
- 2. 会場 サイエンスヒルズこまつ 3Dスタジオ
- 3. 主催等 主催：小松市ビブリオバトル実行委員会
- 4. 対象 発表者：市内小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の児童  
観戦者：興味ある方はどなたでも
- 5. 定員等 発表者10名程度、観戦者40名程度  
申込期間 10月27日（金）まで
- 6. その他 発表時間が3分間のミニ・ビブリオバトルとして行う。

## デジタル利用者カード及び電子雑誌館内閲覧サービスの導入について

### 1. 目的

新しくデジタル利用者カード及び電子雑誌館内閲覧サービスを導入し、利用者サービスの向上と、市民に求められる魅力ある図書館づくりの推進を図る。

### 2. 概要

#### (1) デジタル利用者カード（利用者カードの電子化）

利用登録後、スマートフォンに表示されるアイコンをタップすると利用者カードのバーコードが表示される。従来の利用者カードを持参しなくてもスマートフォンで本の貸出手続きが可能となる。

- 開始予定日 令和5年10月18日（火）
- 利用施設 図書館、南部図書館、空とこども絵本館



#### (2) 電子雑誌館内閲覧サービス

電子雑誌読み放題サービス「dマガジンforBiz」を導入し、館内貸出用タブレット端末（図書館3台、南部図書館2台）で電子雑誌を閲覧できるサービスを提供。雑誌最新号1,200誌、バックナンバー3,000誌以上の閲覧が可能となる。

- 利用対象 利用者カードをお持ちの高校生以上の方。
- 開始予定日 令和5年10月6日（金）
- その他
  - ・利用時間は1時間（順番待ちの人がいなければ1時間延長可）
  - ・紙の雑誌の利用はそのまま継続する。